

NEWS LETTER



横浜災害ボランティアネットワーク会議

編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会内

TEL 045-201-8620 FAX 045-201-1620

H P : <http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/archives/>

E-mail: saivol@yokohama-saigai-vol-net.jp



2018年10月発行 No.61



横浜災害ボランティアネットワーク会議 平成30年度 総会

平成30年6月7日(木) 18:30～、会員向け研修と総会を横浜市健康福祉総合センター8階 大会議室ABにて開催しました。

【第一部：会員向け研修会】 18:30～19:30

テーマ：『横浜市防災計画「震災対策編」の修正について』

講師：石川 雅邦氏（横浜市総務局危機管理室 危機対処計画課 担当係長） 参加者：97名

平成30年4月から横浜市防災計画「震災対策編」の修正されたものが運用開始となりました。

今回の研修会では、その内容を理解するため、横浜市の避難行動の流れ、見直しの経過、防災計画「震災対策編」の主な修正項目についてお話いただきました。

修正における主なポイント

◆熊本地震を踏まえた震災対策の検証状況及び横浜市の取組等が反映された

1 特別避難場所 ⇒ 福祉避難所に名称変更

2 災害廃棄物の処理

片づけごみは、日常の燃やすごみ等と区別し収集される。詳細は横浜市災害廃棄物処理計画に盛り込まれる

3 車中泊避難対策

車中泊避難を、任意の避難場所で被災生活を送る避難者と同様に位置づける。物資の支援等は地域防災拠点等を通じて得ることを基本とする。車中泊避難の発生予防に向け、平時から広報・啓発を行う

4 ボランティアとの協力体制

NPOなどボランティア団体との関係構築や、横浜災害ボランティアネットワーク会議の活動内容、市災害ボランティア支援センター及び区災害ボランティアセンターの役割や市の協力内容が明確化された



【第二部：総会】 19:40～20:45

横浜災害ボランティアネットワーク会議の『総会』が、上記研修会終了後、開催されました。

参加：出席49組、委任状16組

内容：特別会計管理及び運営規程について、役員改選、平成29年度事業報告、平成30年度基本方針および事業計画など

状況：議事に沿って進行し、全て承認されました。



30年度計画の主な事業

- ・支援者向け災害ボランティアコーディネートスキルアップ研修の開催
- ・災害ボランティアセンター訓練の実施 ・会報NEWS LETTERの発行
- ・区災害ボランティアネットワーク連絡会（全区対象の連絡会及びブロック別連絡会等）

役員が決まりました。＜平成30年度総会（H30.6.7）～平成32年度総会＞

代 表 鶴見区災害ボランティアネットワーク 代表 河西 英彦

副代表 ガールスカウト横浜市連絡協議会 副会長 外山 薫

泉区災害ボランティア連絡会 副代表 乾 英昭

監 事 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

社会福祉法人横浜市青葉区社会福祉協議会

西日本豪雨災害支援への取組

平成 30 年 7 月豪雨への支援の取組について 2 団体紹介します。

特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク (KSV ネット)

KSV ネットでは平成 30 年 7 月豪雨災害の被災地、岡山県及び広島県へ災害ボランティアバスを派遣する事業に取り組んでいます。

西日本豪雨災害は広範囲にわたり大きな被害をもたらし、ボランティアバス派遣基準である激甚災害指定も早い段階で総理大臣より言及されました。遠隔地ということもありスケジュールや予算等課題のクリアが必要でしたが、臨時理事会を開催し、甚大な被害状況と長期化するであろう支援活動は、組織化した支援が必要であることが全会一致され、ボラバス派遣支援活動が了承されました。

第1便を7月20日(金)～22日(日)の行程で岡山県総社市に派遣することも決まり、直ちに準備に入りました。

既に計画に沿い、河西英彦理事長(横浜災害ボランティアネットワーク会議代表)他1名を岡山県総社市、倉敷市及び広島県尾道市、三原市に先遣隊として派遣し現地の被害状況の把握や社会福祉協議会及び災害ボランティアセンターとの事前打ち合わせ等行い万全を期しました。

第1便は岡山県総社市に40名派遣。これまでも総社市は災害ボランティア活動が活発であり、全国の災害被災地に支援活動を積極的に展開していましたが、今回の総社市の被災には、全国から行政や関係団体が当初から支援に入り、その受援力に多くを学ばせて頂きました。活動は、人の肩まで浸水した家の中の泥だしなどを行いました。

第2便は岡山県倉敷市への予定でしたが、台風18号の影響で中止になりました。

第3便は倉敷市に向けて夏休みの高校生及び大学生に災害ボランティアの体験を提供しようと参加費無料で募集を行い、高校生12名、大学生8名を含めて42名で出発。お盆と交通事故による大渋滞に巻き込まれ、倉敷市災害ボランティアセンターに午後2時頃到着だったため、実際のボランティア活動は出来ませんでした。ですが、社会福祉協議会課長やボラセンスタッフから被災状況やセンター運営について詳しく説明して頂き、現場での生の声は貴重な体験となり参加者も感激しました。

その後第4便は広島県尾道市、第5便として倉敷市に向けて実施しました。

参加者にはボランティア心得や安全管理、装備などについて学ぶ事前研修への参加を必須としています。

これからも神奈川の防災力及び受援力向上のために全国の被災地支援に向けて組織的な取り組みを展開していきたいと考えています。



ホームページはこちら↓



港北区災害ボランティア連絡会

発災直後の被災地支援は何よりお金が一番ということで募金活動を、そして水害被害にあった住宅の復旧作業に欠かせないタオルや雑巾を集めようと、2つの活動をしました。募金は報道が続いていたこともあり、新横浜駅で募金を始めました。会員が各所で募金を呼びかけ、215,240円になり、全額日本赤十字社を通して被災地へ募金しました。

タオル類はタウンニュースで取り上げられたこともあり、水害被災地にはタオルが必要との認識から、大段ボール26箱分集まりました。タオルの一部は広島県三原市でのボランティア活動に役立ててもらえるように調整しましたが、不要な品も多く混ざっており、物資支援の難しさを感じました。



集まったタオルと雑巾



▲仕分けの様子



ホームページはこちら→

活動紹介

横浜災害ボランティアネットワーク会議 会員紹介

横浜災害ボランティアネットワーク会議には平成 30 年 8 月現在 83 団体 13 個人の会員が加入しています。今回は2団体の会員の活動紹介をさせていただきます。

横浜海洋少年団

横浜海洋少年団は「港・横浜」海に親しみ・海に学び・海で鍛える、をモットーとして 1951 年に設立された、歴史のある団体です。

日常の訓練は、カッター「手漕ぎボート」・ロープワーク・手旗信号「赤・白」、国際交流、清掃活動など、月 3 回桜木町の帆船日本丸の前で活動をしています。ロープワークは災害時にも活かせるため、日頃から訓練をしているほか、海難救助のための「青い羽根募金」を年に 1,2 回実施しています。

8 月には大きな行事として、全国大会・サマーキャンプなどがあります。全国大会は 2 年に一度行われ、全国の海洋少年団員が大勢集まり日頃の訓練の成果を競います。横浜団も参加をして 3 連勝をしました。そのほかに、地域のイベント、ザ よこはまパレード・横浜港カッターレース・運河パレードなど、海に関するイベントには、積極的に参加をしています。

小学 1 年生から高校生までの幅広い年齢層の中で、「5 分前の精神」や「礼の心」の考え方が自然に身に付き、自立や協調の心が養われ、たくましい人間が育ちます。

学校生活では、体験のできないような活動をしているので、興味のある人は、ホームページをご覧ください。



▲手旗信号「赤・白」の様子



▲カッターレースの様子

ホームページはこちら！



港南区災害ボランティアネットワーク

港南区災害ボランティアネットワークの今年度の重点取組は、地域防災拠点との連携と災害ボランティアセンター運営の強化です。

地域防災拠点との連携では、地域防災拠点に災害ボランティアセンターを知ってもらうために、区が作成している地域防災拠点の訓練メニューに、災害ボランティアセンターの体験を加えてもらうことを検討しています。また、災害ボランティアセンターにスムーズにボランティア依頼をいただくために、地域防災拠点運営マニュアルにボランティア依頼様式を加えてもらうことを調整中です。

災害ボランティアセンター運営の強化では、一般公開でのシミュレーションを平成 31 年 2 月 23 日(土) に実施予定です。また、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しや各地域防災拠点までの地図の整備を行っています。

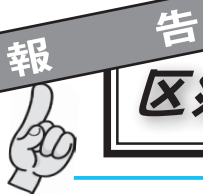
今後も災害ボランティアセンターが円滑に運営できるように、地域防災拠点や区役所との連携を継続して行っていく予定です。



▲総会では地域防災拠点の方々と連携に向けて意見交換を実施



▲公開シミュレーションでは、地域防災拠点の方にボランティア役として参加いただきました。また、地域防災拠点からニーズを依頼する場面のデモンストレーションを行い、見学いただきました。



区災害ボランティアネットワーク ブロック会議

6月18日 Cブロック会議報告 (保土ヶ谷区、旭区、泉区、瀬谷区)

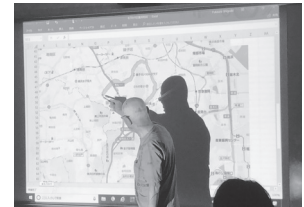
瀬谷区が幹事区となり、Cブロック会議を実施し、各区の活動報告を元に意見交換と課題の共有を行いました。課題では、地域防災拠点との連携や会員の減少等があがりました。

災害ボランティア活動でのICT活用の提案や、他区の災害ボランティアセンター立上げ訓練への参加等の提案もありました。



6月19日 Bブロック会議報告 (港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区)

金沢区が幹事区となり、災害時における区災ボランティアセンターと市災ボラ支援センターとの連携（実践編）を実施しました。災ボラセンター立上げ状況、ボランティア数、コーディネーター数等を報告、人員不足の場合は、支援センターが派遣調整を行いました。そのなかで、金沢区から戸塚区への派遣ルートを地図上で確認しました。



横浜災害ボランティアネットワーク会議 会員一覧

団体名			
1 青葉区民会議	29 全労済神奈川推進本部	57 社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会	
2 一般社団法人 横浜市医師会	30 天理教神奈川教区災害救援ひのきしん隊	58 社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会	
3 ウエスト・ハウス	31 桐蔭学園横浜大学ボランティア会	59 社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会	
4 SL 災害ボランティアネットワーク・横浜	32 バルシステム神奈川ゆめコープ	60 社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会	
5 SG 横浜	33 フェリス学院大学 ボランティアセンター	61 社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会	
6 NPO 法人 光輝	34 ボーイスカウト横浜市連合会	62 社会福祉法人 横浜市緑区社会福祉協議会	
7 NPO 法人 保土ヶ谷国際交流の会	35 横浜青葉国際交流の会	63 社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会	
8 NPO 法人かながわ311ネットワーク	36 横浜市立大学生生活協同組合	64 社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会	
9 神奈川県宗教連盟	37 横浜海洋少年団	65 社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会	
10 神奈川県生活協同組合連合会	38 横浜国立大学生生活協同組合	66 社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会	
11 神奈川災害ボランティアステーション	39 横浜市子ども会連絡協議会	67 社会福祉法人 横浜市泉区社会福祉協議会	
12 学校法人岩崎学園	40 横浜市健民少年団	68 社会福祉法人 横浜市瀬谷区社会福祉協議会	
13 ガールスカウト横浜市連絡協議会	41 横浜市災害救援ボランティアチーム	69 鶴見区災害ボランティアネットワーク	
14 公益財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団	42 横浜市スポーツ推進員連絡協議会	70 西区災害ボランティアネットワーク	
15 公益財団法人 横浜市国際交流協会	43 横浜市青少年指導員連絡協議会	71 南区災害救援ボランティアネットワーク	
16 公益財団法人 横浜市シルバー人材センター	44 横浜市町内会連合会	72 港南区災害ボランティアネットワーク	
17 公益社団法人 横浜市身体障害者団体連合会	45 横浜市民生委員児童委員協議会	73 保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	
18 公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会	46 横浜商工会議所	74 旭区災害ボランティア連絡会	
19 公益財団法人 横浜市老人クラブ連合会	47 YOKOHAMA DOG RESCUE (ヨコハマ・ドッグ・レスキュー)	75 磯子区災害ボランティアネットワーク	
20 公益財団法人 よこはまユース	48 横浜ボートレスキューチーム	76 金沢区災害ボランティアネットワーク	
21 公益財団法人 横浜YMCA	49 横浜労働組合総連合	77 港北区災害ボランティア連絡会	
22 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	50 レクダンス研究会「赤いくつ」	78 青葉区災害ボランティア連絡会	
23 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	51 社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会	79 都筑区災害ボランティアネットワーク	
24 社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団	52 社会福祉法人 横浜市神奈川区社会福祉協議会	80 とつか災害救援活動ネットワーク	
25 生活協同組合ユーコープ	53 社会福祉法人 横浜市西区社会福祉協議会	81 横浜栄・防災ボランティアネットワーク	
26 生活クラブ生活協同組合	54 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会	82 泉区災害ボランティア連絡会	
27 全日本海員生活協同組合	55 社会福祉法人 横浜市長南区社会福祉協議会	83 瀬谷区災害ボランティアネットワーク	
28 全防災ネット	56 社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会	84 個人会員 13 名	



私達と一緒に取り組みませんか **会員募集中**
「いざ」に備えて顔の見えるネットワークづくりにご参加ください！